

B 個別学習（B 1）

主な学習活動

技をよりよくできるようにするために、自分の動きを動画で見たり、友達と教え合ったりする。

1 本時のねらい

自分の選択した技をよりよくできるようにするために解決する方法を考えることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

電子黒板

カメラ

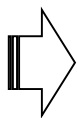
Google Jamboard

3 参考にしてほしいポイント

- ① 新体力テストの結果を踏まえ、Google Jamboardで自分の体力向上プログラムを編成して授業のはじまりのウォーミングアップとして行う。（単元を通して継続）
- ② 本時で取り組む技を自分で決め、共有フォルダの手本動画を参考にすること、2～3人の小集団を編成して、友達にタブレットで技を撮影してもらうこと、本時でよくなったことを評価し合うことを通して技の上達を目指す。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
導入	自分が立てた体力向上プログラムに従ってトレーニングを行う。（単元を通して継続）	Google Jamboardで体力向上プログラムを編成しておく。タブレットを見ながら、時間内にトレーニングを行うことができる。

今日のプログラムはこれでいこう。



展開

小集団内で技の撮影や評価を通して技の上達をめざす。

（タブレット）共有フォルダの手本動画と自分の動きを比較し、よりよくできるようにするための課題を見つけさせる。

ここから撮影するね！



スムーズに起き上がれるようにするには...



4 活用効果

- ① 自らの課題点を意識して作成した体力向上プログラムでトレーニングを行っているので、主体的に取り組むことができた。
- ② 自分のタブレットで動画を通して技のイメージを捉えることができた。静止やスロー再生による視聴が何度でも可能なので、技をよりよくできるようにするための気付きや小集団におけるアドバイスが生まれた。

5 アドバイザーからのコメント

この実践では、始めに手本動画を視聴するのですが、これも効果があります。特別支援教育で、体育教師が直接手本を見せる場合と、動画を使って繰り返したり停止したりして視聴する場合では、動画の方が効果的だったという報告があります。つまり自分の気付きが大切なのです。（東京工業大学 赤堀侃司）

自身で目標を設定し他者とともに振り返ることができることは、自立した学習者を育てるために有効な手立てと考えられます。振り返りの内容を静止画に書き込むなど様々な方法で記録することにより、次の目標を定める際の具体的な材料として活用することが期待できそうです。（福島大学 平中宏典）